

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会 平成 27 年度定時総会議事録

開催日時：平成 27 年 5 月 24 日（日）15:45～17:00

開催場所：奈良県立医科大学 大講堂

会員数：571 名（5 月 24 日現在）

出席者：401 名（当日出席者 107 名、委任状による出席者 294 名）

欠席者：170 名

I 仮議長挨拶

岡山事務局長から議長が選出されるまで仮議長を担当する旨、挨拶があった。

II 開会の辞

吉村副会長が、平成 27 年度一般社団法人奈良県臨床検査技師会定時総会を開催する旨、宣告した。

III 会長挨拶

今田会長から学会に引き続き総会出席に対するお礼があった。総会では、事業・会計報告や事業計画などの議案があり、疑問に思う点についてはどんどん質問して頂き、十分な審議を願う挨拶があった。

IV 来賓の紹介

岡山事務局長から本総会に出席頂いた山崎 正晴、松尾 収二 顧問、山名 正夫 名誉会員と岩本 みどり外部監事の紹介と出席のお礼が述べられた。

V 来賓挨拶

来賓を代表して山崎 正晴顧問より、挨拶があった。今日の検査医学会が参加者、発表者、学会運営にかかわった役員の方々の尽力により成功裡に終わられた事、これからの更なる発展に、私達顧問も応援していく決意、来年の 5 月 14, 15 日に臨床検査医学会近畿支部総会の担当をするので皆様に協力依頼する旨、挨拶があった。

来賓挨拶の後、岡山事務局長から、岩本外部監事が平成 26 年度をもって諸事情により途中退任した報告と山名名誉会員が平成 27 年春に瑞宝双光賞を受章されたことを報告し、会長より山名氏に記念品と花束が贈呈され、山名氏は、私ではなく奈臨技が評価され受章できた。今後も発展して続いて受章されることを祈念する、お礼が述べられた。

VI 議長選出

仮議長から議長候補について出席者に自薦、他薦を求めるもなく、仮議長が石川豊（天理よろづ相談所病院）、吉田 秀子（県立医科大学附属病院）の二氏を提案し、拍手多数にて承認され、議長就任の挨拶の後、議事に入った。

VII 議事

1. 総会役員を選出

石川議長から総会役員候補について出席者に自薦、他薦を求めるもなく、事務局から下記の提案があり、過半数を超える拍手多数をもって承認された。

〔議事運営委員（兼資格審査委員）〕

中森 隆志（田北病院）議事運営委員長、兼資格審査委員長

藤谷 昂文（済生会中和病院）

樋本 貴大（田北病院）

胡内 久美子（県総合医療センター）

〔書記〕

馬場 創汰（天理よろづ相談所病院）

斉藤 真裕美（県総合医療センター）

2. 総会成立の宣言

中森資格審査委員長から、本日の出席者数 401 名（出席者 107 名、委任状出席者 294 名）で正会員数（571 名）の過半数を超えているため総会が成立するとの宣言があった。

3. 議案審議

1) 第 1 号議案：平成 26 年度事業経過報告について

石川議長から、平成 26 年度事業経過報告について、一括報告後に承認を求めるとの説明後、下記の担当理事から議案書に基づき説明があった。

(1) 総括：今田会長

本年度は理事の改選があり、半数が新任の理事になりましたが、前任者の手助けや退任された後も委員会のメンバーとしてバックアップして頂き、また会員そして賛助会員の皆様のご協力を得て事業を推し進めることができました。また、事業を行うための委員会を強化し、学術活動では各分野の分野員を増員して研修会活動の充実を図り奈臨技事業を展開して参りました。奈臨技では主として会員の皆様に向けた学術活動、県民を対象とした講演会などの事業、検査の質を担保するための精度管理事業、そして奈良県臨床検査協議会を通じて検査の標準化に関する事業を行った。加えて平成 26 年度は日臨技の要請に応じてチーム医療への参画のため「検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会」を行った。詳細について各理事より報告して頂き、議案に対して十分な審議を願う挨拶があった。

(2) 事務局 総務部：岡山事務局長

定款に基づき、定時総会と通常理事会を開催した。庶務部会では奈臨技ニュース、会誌等の会員への配布物を事務局から一括して業者便とメール便を用いての配付した。奈臨技ホームページではコンテンツの拡充に心掛け、毎日のアクセスが平均 100 人と多くの訪問者があったことや関連団体に理事や会員を派遣した事など報告があった。

(3) 事務局 経理部：上杉経理部長

財政の適正化について要旨が説明された。また、一般社団法人として、顧問税理士の協力を得ながら各種財務諸表作成等の決算処理及び日常の経理処理業務や公益目的事業費率の適正維持等の基盤確立を行った旨、説明があった。

(4) 組織法規部：中田組織法規部長

会員加入促進、施設代表者会議の開催、新入・一般会員研修会の開催を実施した旨、説明があった。

(5) 学術部関係：藪内検査研究部門担当部長

第 31 回奈臨技学会は一般演題 16 題、シンポジウム 4 題、特別講演、ランチョンセミナーを行い盛大に開催した。また、検査研究部門活動は、54 回の研修会を開催しのべ 973 名の参加があった。精度管理調査は、55 施設の参加があり日臨技システムの利用して実施した。生涯教育事業では、統計学の研修会と検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会を開催した。平成 26 年度現在、日臨技精度保証施設認証施設は 10 施設となったことが報告された。

(6) 渉外部：高木渉外部長

公開講演会のテーマは肝臓病を取り上げ、県民 145 名の参加者を得て、終了できたことの報告があった。

(7) 地域保健事業部：横山地域保健事業部長

「樫原市ふれあい・いきいき祭」、「なら糖尿病デー2014」等、県民への生活習慣病の予防や健康への啓発を目的とした県内の地方公共団体及び医療関係協会と連携した活動を実施し、何れも約 300 名の参加があったことが報告された。

(8) 地域保健事業部 公衆衛生部門：堀川公衆衛生担当部長

がん撲滅のための検査展、日臨技事業「全国検査と健康展」を開催し、何れも 350～500 名と多数の参加者あった旨、報告された。

(9) 福利厚生部：工藤福利厚生部長

技師会活動の傷害及び損害賠償保険の加入、会員の親睦を深めるため、同好会助成内規に基づきアウトドア同好会とボウリング同好会を開催した旨、説明があった。

(10) 広報部：岸森広報部長

会誌まほろばを1回、奈臨技ニュースを毎月の発行について説明があった。

(11) 地区担当部：中森地区担当

事務局と連携をとり、会員の異動、奈臨技事業の実務委員推薦、施設代表者・連絡責任者会議を開催した。

以上、各部局の事業経過について説明を受けたのち、石川議長から第1号議案について質問、意見を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

2) 第2号議案：平成26年度決算について

石川議長は、平成26年度決算について、上杉経理部長に説明を求めた。

平成26年度決算：上杉理事

議案書に基づき要旨が説明された。貸借対照表、正味財産増減計画書、財務諸表に対する注記、財産目録について説明があった。また、公益目的支出計画実施報告書についても詳しく説明された。

平成26年度決算について説明を受けたのち、石川議長から第2号議案について質問、意見を求めたが、質疑なく、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

3) 第3号議案：平成26年度監査報告について

石川議長は、山口監事に平成26年度監査報告を求めた。

平成26年度監査報告：山口監事

平成27年4月23日に平成26年度事業・会計監査および公益目的実施報告書の監査を実施し、事業計画等を円滑に遂行され、会計収支に不正がないことを認める説明があった。

以上、石川議長から第3号議案について質問、意見を求めたが、質疑なく、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

4) 第4号議案：平成27年度事業計画について

吉田議長から、平成27年度事業計画について、一括した説明後に承認を求めるとし、下記の担当理事から議案書に基づき、説明があった。

(1) 総括：今田会長

本年度も例年に沿った内容で事業を企画する事になるものと思いますが、平成27年度事業について計画して頂いた各部局担当理事、検査研究部門の部門

長、分野長の方々にお礼申し上げます。各部局での事業、学術研修会の計画の詳細については担当者より報告致します。

昨年チーム医療師新政策に基づき国会で成立した臨床検査技師等に関する法律の改正で今年4月から臨床検査技師による検体採取及び味覚・臭覚の生理学的検査が認められる事となりました。日臨技が厚生労働省の指定を受けライセンス追加と位置づけて検体採取等に関する講習会を概ね4年で全会員が受講出来るよう企画、実施されていますが、今後、臨床検査技師がメディカルスタッフとして活躍して行くための生涯教育研修も充実させて行く必要があります。第32回奈良県医学検査学会のテーマでも取り上げているチーム医療と共に本格的に取り組んで参りたいと思います。

奈臨技の重要な課題として人材育成があげられます。本年度も事業を展開するための委員会委員、学術分野員の一部交代することで多くの会員に末端の役職を担う形での技師会活動へのご協力をお願いしています。奈良糖尿病デーなど医療関連団体のイベントや自治体主催の健康をテーマとした事業への協力など公益事業活動を通じて社会貢献できる人材、学術分野員として企画運営側でスキルアップを図り、卒後教育を担う若い人材が育って行く事を望みます。

最後に事業計画を充実したものにするためには会員の皆様のご支援が不可欠であります。今後も技師会活動への積極的なご参加、ご協力をよろしくお願い致します。

(2) 事務局 総務部：岡山事務局長

例年通り定款に基づき総会は年1回の定時総会、各種委員会の開催、日臨技への協力する説明があった。また、勉強会情報などの変更に対応できるよう施設連絡メーリングリストへの登録のお願いがあった。

(3) 事務局 経理部：上杉経理部長

議案書に基づき財政の適正化と一般社団法人としての会計基準の維持について要旨が説明された。支出報告書処理など会計業務が複雑化、高度化しているため、継続している税理士によるコンサルテーションをお願いする説明があった。

(4) 組織法規部：中田組織法規部長

会員加入促進、施設代表者会議の開催、新入・一般会員研修会を企画する旨、説明があった。

(5) 学術部関係：藪内検査研究部門担当部長

検査研究部門運営、精度管理推進事業、生涯教育研修事業に大別し、委員会を設置し運営する。

「チーム医療における臨床検査技師育成の課題」をテーマに第32回奈臨技学会を開催する。精度管理調査、生涯教育研修事業、データ標準化事業についても昨年度同様に実施する。

(6) 渉外部：高木渉外部長

今年度も、県民の健康維持・増進に繋がる講演会企画をして県民に情報を提供していきたい旨、説明があった。

(7) 地域保健事業部：横山地域保健事業部長

県民対象の医療や公衆衛生の啓蒙活動として、地方公共団体及び医療関係協会と連携した活動に協力すると共に、県民への臨床検査啓発活動を推進する説明があった。

(8) 地域保健事業部 公衆衛生部門：堀川公衆衛生担当部長

日臨技の公益事業としてがん撲滅のための検診受診の啓蒙、STI 予防そして臨床検査の PR 活動をとおして、国民の健康づくりに貢献するためや臨床検査技師を認知してもらう検査展を開催する説明があった。

(9) 福利厚生部：工藤福利厚生部長

技師会活動の傷害及び損害賠償保険の加入、同好会活動の助成を行っていく。

(10) 広報部：岸森広報部長

会誌まほろばと毎月の奈臨技ニュースの発行を理事会の承認を経て実施する。

(11) 地区担当部：中森地区担当

執行部と会員および会員施設との連絡調整を行う。

5) 第 5 号議案：平成 27 年度予算案について

吉田議長は、平成 27 年度予算案について、上杉経理部長に説明を求めた。

平成 27 年度予算案：上杉経理部長

議案書に基づき、予算の説明があり、会費収入は前年度よりやや多く、広告・雑収入はやや少なく見積もり、合計としては例年と大差ない報告された。

平成 27 年度予算案について説明を受けたのち、吉田議長から第 5 号議案について質問、意見を求めたが、質疑なく、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

6) 第 6 号議案：一般提出議題について

吉田議長は、事務局に一般提出議題の提案を求めた。

岡山事務局長から、総会 7 日前、5 月 17 日までに事務局に届いた一般提出議題はないと、報告があった。

吉田議長より、会場の出席者に緊急動議の有無を確認するもなく、執行部の追加動議の有無を確認するもなく一般提出議題はなしと宣告した。

その他、質問等なく、吉田議長からこれを以って本日の審議事項はすべて終了したことを宣告した。

VIII 総会役員及び書記の解任

吉田議長から総会役員及び書記を解任する旨の通告と、協力への謝辞が述べられた。

IX 議長挨拶

吉田議長から議事進行の協力に対して謝意が述べられた後、自らを解任する旨、宣告した。

X 閉会の辞

梅木副会長から一般社団法人 奈良県臨床検査技師会 平成 27 年度定時総会の閉会宣告が行われた。

以上、式次第はすべて終了し完了した。

平成 27 年 5 月 24 日
一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

会 長 今田 周二

監 事 山口 正悟

監 事 道本 実保